

授業科目 韓国語によるコミュニケーション

【担当教員名】 尹 恵 暎	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短々と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語によるコミュニケーションの能力を身に付ける。

<学習目標>

- 1 ハングル文字が読める。
- 2 平易な韓国語の文章が理解できる。
- 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。
- 4 簡単な日常韓国語が話せる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法
1	韓国語とは？ 韓国語の文字の特徴を理解する。		講義と練習
2	基本母音字 基本母音の書き方と発音を学ぶ。		同上
3	基本子音字 基本子音の書き方と発音を学ぶ。		同上
4	濃音について 濃音の書き方と発音を学ぶ		同上
5	合成母音字について 合成母音字の書き方と発音を学ぶ		同上
6	終声について 終声の発音を学ぶ。		同上
7	発音のルール 発音のルールを学ぶ。		同上
8	基本文型練習 1 「AはBです」・「AはBではありません」という表現を学ぶ。		同上
9	基本文型練習 2 指示代名詞と疑問表現を学ぶ。		同上
10	基本文型練習 3 疑問詞と数字の表現を学ぶ。		同上
11	基本文型練習 4 用言の丁寧な表現を学ぶ。		同上
12	基本文型練習 5 用言の否定形と「AからBまで」という表現を学ぶ。		同上
13	基本文型練習 6 助数詞と位置を表す表現を学ぶ。		同上
14	基本文型練習 7 日常会話でよく使う丁寧な言い方を学ぶ。		同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	韓国語レッスン 初級Ⅰ	金東漢・張銀英	スリーネットワーク	2001年発行 2400円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席・レポート・定期試験などから総合的に判断する。	【履修上の留意点】
-------------------------------------	-----------